フランス式庭園

校章

農林高校新聞

発行者
山梨県立農林高等学校
甲斐市西八幡４５３３
ＴＥＬ０５５-２７６-２６１１
ＦＡＸ０５５-２７９-１４１３

輝く農林・創立百十周年記念式典

山梨県立農林高等学校　校長　山中　泉

本校創立百十周年記念式典が、快晴の十月十八日に盛大に挙行されました。教育委員会の飯室元邦様はじめ地元県会議員・地元市町村長・歴代校長先生・県立高等学校長・地域中学校長・関係諸機関等のご来賓の皆様並びに同窓会役員・ＰＴＡ役員の皆様のご臨席の中、農村黎明の鐘とともに開式しました。

式典での校長式辞の一部を紹介させていただきます。「・・・本校は、大東亜戦争の戦災に遭い、昭和二十一年に甲府市伊勢町から、ここ玉幡の地に移転して参りました。当時、ここは荒涼たる玉幡飛行場の跡地で、玉幡砂漠とも言われ、職員生徒達が一体となって取り組んだ農場の開墾・整備には、筆舌に尽くしがたい苦闘があったと聞いております。先輩諸氏のこのようなたゆまぬ努力と汗の結晶が見事に実り、現在では平成二十年に全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部において文部科学大臣より表彰を受賞するまでになっています。・・・・最近の本校の特色の一つに、「先人に学ぶ事業」があります。その一人が本校の卒業生で朝鮮の土となった浅川巧です。本校を卒業した巧は、大正三年朝鮮に渡り、朝鮮総督府山林課に勤務し苗木養育の試験研究に没頭する中、現地の人々と親身になって交流し、朝鮮の陶磁器や木工品等の芸術性の価値について広める功績を挙げて後年の日韓交流に大きな役割を果たしました。・・・また、俳人　福田甲子雄がいます。全校生徒・保護者・教職員による俳句・川柳大会を毎年開催しており、秋の収穫祭で作品発表と表彰するなど、全校を上げて取り組んでいます。・・・生徒の皆さんは先輩達がこれまで積み上げてきた文化、体育、農業クラブ活動など輝かしい伝統と実績をしっかりと受け継ぎ、更に、素晴らしい校風を樹立するため、校訓「誠実の人となれ」のもと、自主・自立・連帯の精神と実践力をしっかり養うよう努力して欲しいと思います。・・・」

昨年の十二月に校内準備委員会が発足し、今年一月に第一回設立準備会、二月に同窓会支部長会議・同窓会当番幹事会、四月にＰＴＡ本会役員会、そして五月の創立百十周年記念協賛会設立総会で本格的な募金活動が開始されました。協賛金も目標額に近づき、今後の十年間の輝ける本校教育環境作りに大きく貢献できる創立百十周年記念基金ができました。

本校創立百十周年記念事業に対しまして、同窓会会員・ＰＴＡ会員はじめ関係機関の多くの皆様方の温かいご支援ご協力に衷心より感謝申し上げます。

記念式典

創立百十周年記念講演会

「大地を耕すことは、人の心を耕すこと！」

創立百十周年記念講演会として、恵泉女学園大学人間社会学部教授 藤田 智 先生をお招きし、「大地を耕すことは、人の心を耕すこと！」という演題で講演をいただいた。先生は、ＮＨＫの「やさいの時間」や「趣味の園芸やさいの時間」のメイン講師として、ご出演されており、また、日本テレビ「世界一受けたい授業」では、アンパンマンとの共演で放映されおなじみの方も多いと思います。講演では、番組の収録についてユーモアを交えて話され、日本農業の現状と課題、夢を持つ大切さ、草花が街を変えた・地産地消「ファーマーズ・マーケット」、人を育てる作物栽培、農業と園芸教育の目的、食料自給率 -日本と私-、カリフォルニアやロシアから学ぶ、拡がれ人間教育、心豊かな人づくりについて話された。わかりやすい内容で農業と園芸の多様性・多機能を理解することができました。

最後に、在校生、講演参加者に向けて、「大地を耕すことは、人の心を耕すことだ。」というエールの言葉をいただきました。

本校の記念講演会にふさわしく、有意義な講演を賜ることができました。

記念講演会

第2学年修学旅行を終えて

九月九日(火)より十二日(金)までの三泊四日、北海道への修学旅行を実施しました。間近な動物に触れることができた旭山動物園、思わず歓声を上げたパッチワークの富良野美瑛の丘。自主散策で廻った運河の街とそれぞれの夕食の小樽。北海道の広大な大地と豊かな自然の体験、おいしい食事を満喫した四日間。思い出に残る修学旅行となったことでしょう。

旭山動物園

自然体験

俳句川柳コンテスト

※今年のテーマは「森」と「水」

俳句の部（生徒優秀作品）

金賞　水面揺れ踊る金魚の夏祭り　三年　宅間　加奈
銀賞　そよ風が木もれ陽ゆらす森林浴　一年　山本　佳祐
銀賞　木漏れ日が葉と葉を光らす森の中　二年　秋山　恵美
銀賞　水を浴び野菜きらめく夏の輝き　一年　鈴木　彩水
銀賞　せせらぎを音でたのしむ夏の夜　二年　大島　功真
銀賞　夏休みきらきら輝く波と音　三年　萩元　将大
銀賞　涼やかさ水辺に思わず花菖蒲　二年　石井　萌
銀賞　揺れている森の全てが命かな　三年　花輪　紘正
銀賞　風を切るケヤキの枝のたくましさ　一年　菊島　秀夫
銀賞　夏の日々コンビニたちが僕の森　二年　坪井　智
銀賞　葉のしずく落ちていく頃陽が昇る　三年　初鹿　雄大
銀賞　せみの音乾いた喉に沁みる水　三年　柏木　一輝

川柳の部（生徒優秀作品）

金賞　水たまり蛙も逃げこむ日の熱さ　二年　藤本　涼
銀賞　森の中涼しい風に夢の中　三年　土橋　響
銀賞　炎天下ハーフタイムでうまい水　一年　齋藤　公亮
銀賞　ひとつぶの水から始まる長い旅　三年　田中　練
銀賞　また一つ物を作って森が減る　一年　中村　維吹
銀賞　いつの日も自然感じる我が母校　一年　山本　亜美
銀賞　水遊び日焼けが怖い夏休み　二年　三井　百花
銀賞　かき氷あっというまにただの水　三年　渡辺美衣奈
銀賞　でかくなれ毎日早起き水をやる　三年　石川早矢加
銀賞　自分等の汗より汗かく夏の空　二年　内田　彩夏
銀賞　水しぶき舞い散る粒に映る顔　一年　奥山あゆみ
銀賞　親たちの木洩れ陽浴びる子供たち　一年　穐山　尚生

俳句の部（保護者優秀作品）

金賞　ほたる棲む貴き清流未来まで　一年　山本菜保子
銀賞　ひぐらしの声が神社の森に消ゆ　一年　市川　直貴
銀賞　富士五湖の水面に描く世界遺産　二年　薬袋　里香
銀賞　森の中時を忘れて寝てみたい　一年　松橋友利香
銀賞　水田の緑の波間に赤とんぼ　三年　初鹿小百合
銀賞　夏の川ホタルの光空に舞う　一年　平岡　和枝
銀賞　かき氷食べるそばから色水に　二年　武藤　時子
銀賞　豊作を願い水まき虹がなる　一年　伊藤　美和
銀賞　打ち水のじょうろで描く夏の虹　三年　清水さわ子
銀賞　せせらぎに癒やしもとめて人集う　二年　久保田みえ

川柳の部（保護者優秀作品）

金賞　あらクマさん森ではなくて街の中　二年　児玉　友美
銀賞　農林や緑にかこまれ大自然　一年　瀬古　美加
銀賞　おじいちゃん命の水はビールだね　三年　望月さつき
銀賞　水不足私の肌も水不足　三年　河手　由美
銀賞　蝉たちの強き命が森響く　二年　薬袋　里香
銀賞　弁当箱すき間をうめるブロッコリーの森　三年　清水さわ子
銀賞　木漏れ日を浴びてきらめく石清水　三年　蓮沼　光司
銀賞　そよ風にゆらりゆられし森の木々　一年　有泉　和久
銀賞　天災に恨む気持ちが涙雨　二年　依田伊都子
銀賞　森林浴心も体も洗われる　一年　渡辺みちる
銀賞　緑濃く木々の香りで深呼吸　二年　小林　浩美
銀賞　甲子園流す汗水あすの光　二年　小澤　栄子
銀賞　森の中差し込む光に導かれ　二年　野中紀世香

第49回白楊祭「全力振り切り、最高に滾(たぎ)れ。」

十一月五日（水）「全力振り切り、最高に滾れ」をテーマに白楊祭文化祭は農林高校体育館（発表）三年生教室（展示）を会場に行われました。得点種目は例年通り、クラス発表・似顔絵・クラス新聞の三種目です。九月～十月が準備期間で、二年生修学旅行・三年生進路決定時期と重なり、各クラスとも忙しく準備が進んでいきました。準備期間も後半になると、学校内は活気にあふれ、優勝を目指してそれぞれの能力や技術を出し切っていたのではないかと思います。完成した作品はどれも昨年までのものと遜色のない素晴らしい出来映えでした。

生徒会では独自企画として「やはりん着ぐるみ」を作成しました。クラス発表の合間や収穫祭にも登場させ、場を和ませるのが目的でしたが、作成の段階で計画的には進まず、試行錯誤の連続でした。一年生を中心に小さな模型ができ作業が進みました。ふわふわマットを貼り付けていく段階で、材質が重さに耐えきれず、下の方が潰れたり、中の湿気と体温が内にこもり、１０分もすると汗だくになってしまうことも直前に分かりました。ステージ発表では、巨大なスクリーンで体育館後ろの生徒もステージが分かるようにしました。音響の機材保護という意味で、立ち入り禁止のテープを貼りましたが、もう少し生徒が動けるようにした方がよかったかと思い、来年度に生かしたいと考えています。生徒会の目標は、生徒の自主的な活動をサポートする事です。まず、何をしたいか、どのように運営したいか、どんな結果を求めるかが活動の原点となり、具体的な行動が生まれることが理想です。今年の白楊祭を振り返るとできた部分もあり、できなかったところも多々あると思います。白楊祭は様々な分担の中で行う、他ではできない生徒の活動の一つです。生徒の自主的な運営や活動をもっと増やしていければと思います。様々な方面に多大なご協力をいただき、感謝します。ありがとうございました。

体育館でのステージ発表

似顔絵制作中

収穫感謝祭～大農産物市場が大盛況～

十一月八日（土）に第四十九回収穫感謝祭が天候にも恵まれ秋空のもと盛大に開催されました。今年も全校職員・生徒が「おもてなしの心」を意識して実施しました。開祭式（式典）では、多くのご来賓の方々のご出席をいただき、共に収穫に感謝し、来場された皆様方のご健康と幸多かれと「花火」を上げました。収穫感謝祭は、今回で四十九回を迎える伝統行事であり、今年は本校創立百十周年の記念すべき収穫感謝祭となりました。また、農業高校として、生徒の日頃の学習成果や実習をとおして栽培した農産物の収穫への感謝をし、地域の方々に販売での交流を行う日となりました。生徒が丹精込めてつくった農産物や加工品を販売することで、地域の方々との交流の場となっています。特に、農業クラブ役員・生徒会役員生徒が中心となって運営を行い、「模擬店」「中学生の学校案内」「郷土芸能・軽音楽発表」などを実施しました。フランス式庭園では「もてなし広場」を開設し、野点にて来賓や一般の方々におもてなしを実施しました。また、歴史館前では、ファームクラブによる「ふれあい動物園」開設による子供達と動物とのふれあいが実施され、楽しいひと時を過ごしました。「模擬店」は、各クラスから出店がされ、クラスが団結して販売を行い、お客様の行列が途絶えることがありませんでした。

農産物市場の大行列！

「おもてなし大農産物市場」として設置した各学科販売所では、白菜やネギ・メロン・味噌・ジャム・木材加工品などを販売しました。大勢のお客様が長蛇の列をつくり、地域の方々、遠方からお越し頂いた方々、保護者の方々の多くにお買い求めいただきました。特に、野菜や本校の「黎明米」が特価にて販売され大好評でした。生徒は自信をもって販売しており、お客様との交流とおもてなしができたと思います。その他「学科展示」「文化部展示」も実施しました。今回の収穫感謝祭には、各地域からの来校者数が約千五百名以上となり大盛況の内に終了しました。来場者アンケートには「素晴らしい収穫祭で大変楽しめた」とあり、おもてなしの心が少しでも伝わったと感じました。

この収穫感謝祭をとおして、全校生徒が農業高校生としての自信と誇りをもって協力したことで大成功でした。生徒の皆さんには感謝します。そして、来年の第五十回収穫感謝祭が、さらに地域の方に期待されるようにしていきましょう。

模擬店も大繁盛！

各種大会の結果

陸上競技部

関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
▽男子ハンマー投（6．000kg）【第2位・55㍍60㎝】栄野比ホセ（2F）
第60回山梨県高等学校陸上競技新人大会
▽男子ハンマー投げ（6．000kg）【優勝・50㍍32㎝】栄野比ホセ（2F）【第3位・40㍍8㎝】三神大樹（2G）▽男子円盤投げ（1．750kg）【優勝・37㍍21㎝】栄野比ホセ（2F）▽男子3000㍍SC【優勝・9分41秒46】笠井虎壱（1年5組）▽男子800㍍【第2位・2分02秒09】笠井虎壱（1年5組）
第65回全国高等学校駅伝競走大会
▽男子第67回関東高等学校駅伝競走大会山梨県予選会【第3位・2時間18分15秒】（笠井駿・幡野貴士・五味翔太・諏訪寛太・郡 泰良・広瀬幹・笠井虎壱）▽女子第26回全国高等学校駅伝競走大会・第23回関東高等学校駅伝競走大会山梨県予選会【第3位・1時間20分24秒】（田中栞・石井彩・内藤真理・石原朱理・大木祐菜）

レスリング部

山梨県高等学校レスリング競技新人大会兼関東選抜大会山梨県予選会
▽学校対抗戦（団体戦）【第2位】▽（個人戦）55kg【優勝】神田優人（1年1組）▽60kg【優勝】田口学容（1年2組）【第2位】小山晃平（1年2組）▽50kg【第2位】高橋三四郎（2F）▽66kg【第2位】飯久保翔太（1年1組）▽74kg【第2位】山本丈介（1年2組）▽84kg【第2位】豊田勝弘（2年G科）

農業クラブ

第65回日本学校農業クラブ連盟全国大会沖縄大会
▽農業鑑定競技【優秀賞】古河清史（3S）▽平板測量競技【優秀賞】河手優樹・木村ヒデキ・谷生郭仁（3E）
第65回関東地区学校農業クラブ連盟大会東京大会
▽意見発表・区分「環境」【優秀賞】石田綾香（1年4組）▽意見発表・区分「文化・生活」【優秀賞】中嶋智也（1年2組）▽プロジェクト発表・区分「食料・生産」【優秀賞】向山萠・笹之池桃乃・奥山真由・加藤恵・柏木そら▽プロジェクト発表「文化・生活」【優秀賞】吉原孝太朗・岡本拓海・岡本凌平（3S）
平成26年度県連農業鑑定競技大会
▽農業土木コース【最優秀賞】福田将也（2E）【優秀賞】保坂樹生（1年4組）▽食品科学コース【最優秀賞】古河清史（3S）【優秀賞】土橋響（3S）▽林業コース【最優秀賞】澤村瑛啓（3F）▽造園コース【最優秀賞】田中裕（3G）【優秀賞】（柏木一輝3G）▽園芸コース【優秀賞】杉田幹也（3H）【優秀賞】功刀千裕（2H）
平成26年度県連平板測量競技大会
【最優秀賞】河手優樹・木村ヒデキ・谷生郭仁（3E）

写真部

第14回やまなし県民文化祭写真展
▽学生の部【入選】坪井智（2G）
2014年度秋季審査会
▽団体【第5位】▽個人【銅賞】長坂ちひろ（2G）【佳作】畠山優花（3H）【佳作】蓮沼美和（3H）【佳作】斉木亜里沙（2H）【佳作】松本紗里那（2F）【佳作】坪井智（2G）【佳作】野中彬菜（2G）【佳作】薬袋日和（2S）【佳作】保坂凌慧（1年2組）

家庭科

牛乳料理コンクール山梨県大会
【優秀賞】小島秀斗（2S）
牛乳料理コンクール関東大会
【第6位】小島秀斗（2S）
「しっかり食べて元気、そう甲斐」地産地消料理コンテスト
【準優勝】成田楓（3S）

宇宙大豆栽培プロジェクト

システム園芸科では、平成二十三年より宇宙ステーションに一時保管された宇宙大豆を栽培しています。生徒のプロジェクト学習の一環として、栽培比較や大豆クッキーを作ってきました。

初年度の平成二十三年は、宇宙大豆四十粒を受理し、三千五百粒にし、平成二十四年に65kg、平成二十五年に80kgに増量しました。また、圃場での栽培や宇宙大豆と地球大豆の栽培比較試験を行いました。試験栽培では、宇宙大豆の生育が良かったと感じましたが、サヤ数や生育調査結果では、変化の差は認められませんでした。この栽培は、プロジェクト学習として取り組んでおり、今年八月に、宇宙飛行士の若田光一さんミッション報告会にて、若田さんの前で発表させていただきました。生徒も若田さんからのプロジェクト研究への励ましに感動していました。

今回、栽培で増産した宇宙大豆三代目・四代目を「宇宙大豆味噌」として製造試作をしました。地元味噌製造会社の宮坂醸造さんの協力を得て実現することができ、収穫感謝祭にて百名に食味アンケートを実施しました。この味噌製造までを栽培から加工へ位置づけましたが、今後さらに大豆製品試作に向けてプロジェクトを発展させて行きたいと思います。

比較栽培

農業クラブ全国大会

第65回日本学校農業クラブ全国大会（平成26年度沖縄大会）に、10月22日（水）・23日（木）、全国の農業を学ぶ生徒が集まり、日頃の学習成果の発表や競技に腕を競い合いました。本校からは農業鑑定競技に各科1名、平板測量競技に農業土木科3年生チーム、クラブ員代表者会議に中村真規農業クラブ副会長、理事会・秋季代議員会に牧野ユリ県連会長がそれぞれ参加しました。参加生徒は皆、精一杯取り組み、また沖縄県連の素晴らしいおもてなしを受け感激しました。

競技結果は、農業鑑定で食品科学科3年の古河清史さんが、平板測量で河手優樹・木村ヒデキ・谷生郭仁さんのチームが見事優秀賞を獲得し、会議では全国のクラブ員と交流ができました。来年度の群馬大会に向けて、今から意欲的な取り組みをお願いします。